

## 8. 景觀

# ダム周辺の景観の概況

## 大雪ダム周辺の状況

H30 (2018) . 9. 26撮影



堤頂右岸展望台からの眺望

H30 (2018) . 9. 26撮影



ダム管理支所からの眺望

H30 (2018) . 9. 26撮影



国道39号駐車場からの眺望



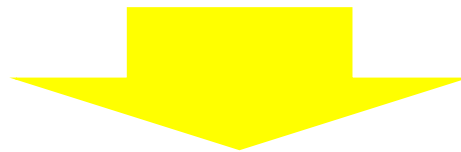
### 凡例

● 視点場

← 写真撮影方向

## ダム周辺の景観の特徴

- 大雪ダムを含む石狩川上流域は、大雪山系の標高2,000m前後の山々に囲まれた渓谷を流下し、大雪ダムを経て、層雲峡や上川町、旭川へと流れる急流河川となっている。
- 大雪ダムは、流域全体が大雪山国立公園内に位置しており、国立公園特別地区に指定されている。
- 大雪山の紅葉は日本で一番早いと言われ、紅葉時は針葉樹の緑と落葉・広葉樹の朱色や黄色の微妙な色の違いにより、幾重にも重なったような色彩を見せる自然豊かな空間となっている。
- ダム及びダム湖は国立公園内であり、家屋はほとんどなく、国道273号沿いに大雪防災ステーションの他、トイレ、遊歩道等が整備されている。  
(※遊々林遊歩道は、現在クマ出没のため立入り禁止となっている。)

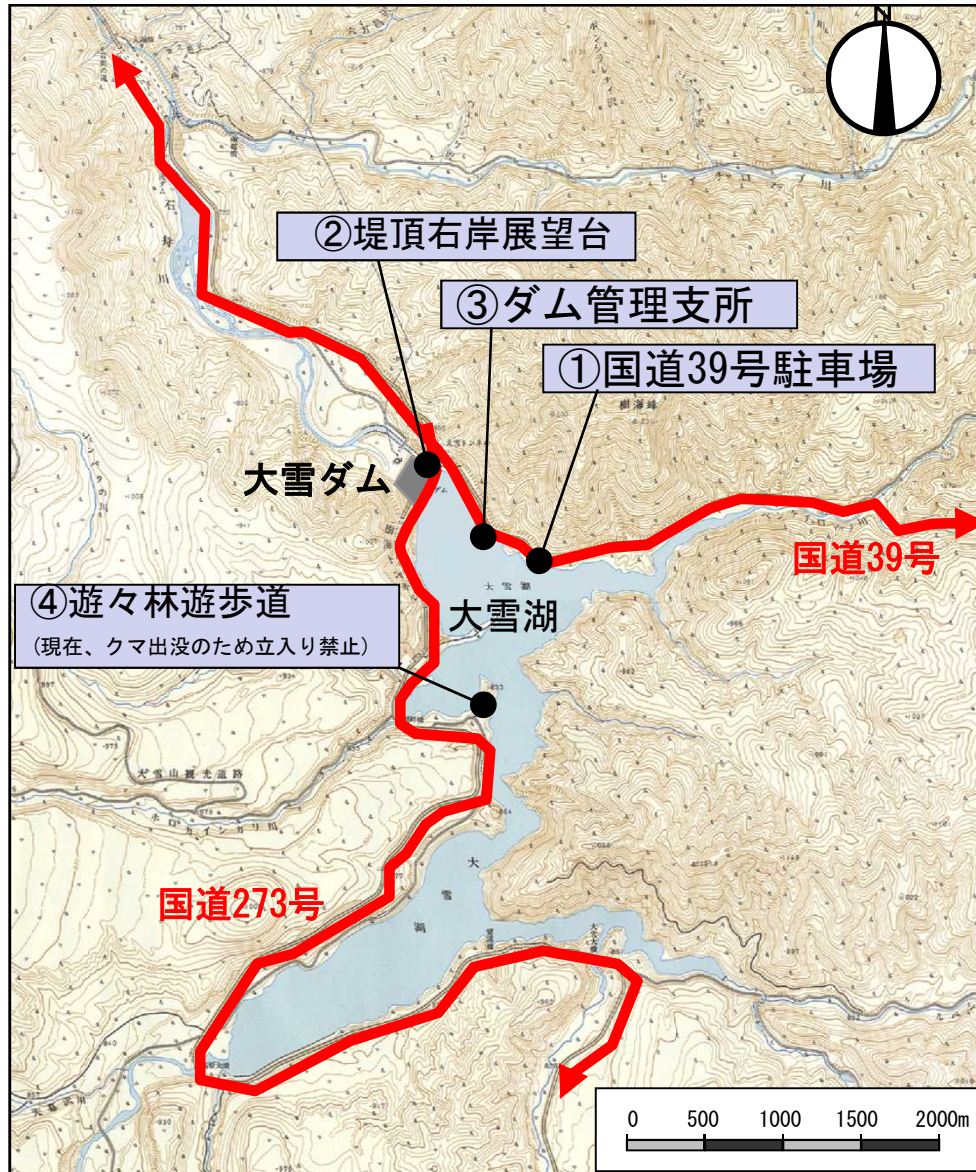


地域の景観資源

「急峻な地形に囲まれた自然豊かなダム湖景観」



# 景観評価を行う視点場の選定



視点場名	状況	眺望景観 (視軸方向)	主要な 景観要素
① 国道 39号 駐車場	国道39号沿い駐車場。「大雪湖」の看板がある。植生によりダム湖は垣間見る程度。広く俯瞰する眺望。	ダム湖	○大雪湖
② 堤頂 右岸 展望台	堤頂右岸の眺望施設。駐車場、記念碑、ベンチ、説明パネルなどがある。ダム湖方向、ダム上流面が眺望できる。	ダム ダム湖	○ダム (上流面) ○大雪湖 ○付帯施設 ○管理支所
③ ダム 管理 支所	ウッドデッキ、ベンチ、案内板などを整備。ダム湖、ダムの上流面が眺望できる。	ダム ダム湖	○ダム (上流面) ○大雪湖 ○付帯施設 ○管理支所
④ 遊々 林 遊歩道	半島状にダム湖に突き出た林内。ウッドデッキの散策路が整備。所々に展望スペースがありダム湖が眺望できる。なお、現在は、クマ出没のため、立入り禁止となっている。	ダム湖	○大雪湖



## ①国道39号駐車場

H30(2018).9.26撮影



駐車場の視点場



駐車場からの眺望

H30(2018).9.26撮影

- ・国道39号沿いに位置している。
- ・現状では、樹木が繁茂し湖を殆ど見ることができない。
- ・視点場からダム本体は見えない。
- ・視点場となる駐車場には、駐車スペースのほか、サインが設置されている
- ・サインは老朽化している。



サイン

H30(2018).9.26撮影

## ②堤頂右岸展望台

H30(2018).9.26撮影



堤頂右岸展望台の視点場



堤頂右岸展望台からの眺望

- ・ダム堤頂右岸に設置された展望台より、ダム湖を一望することができる。
- ・帯広へ通じる国道273号(三国峠)の中間地点として、休憩する人が多い。
- ・視点場左岸側には、大きな取水塔が目立つ。
- ・夏期のかんがい用水補給時期には、水位が低下し裸地が目立つ。

## ③ダム管理支所

H30(2018).9.26撮影



ダム管理支所の視点場

## ④遊々林遊歩道

(現在、クマ出没のため立ち入り禁止)

H20(2008).9撮影



遊歩道からの視点場



ダム管理支所からの眺望

- ・ダム管理支所前のウッドデッキから、ダム本体とダム湖を一望できる。
- ・ダム本体は緑で覆われ、天端には視界を阻害する構造物は無い。
- ・視点場となるウッドデッキには、ベンチ、イス等に木材が用いられている。

## 駐車場からの眺望

H20(2008).9撮影



遊歩道からの眺望

- ・林の中に整備された遊歩道があり、複数の眺望スペースが設けられている。
- ・ダム湖を臨むことができる。
- ・視点場からダム本体は見えない。
- ・水位が低下すると裸地が目立つ。
- ・視点場となる遊歩道は、ウッドデッキなどに木材が用いられている。

※なお、遊々林については、クマ出没により立ち入り禁止となっており、次回フォローアップ時において、今後の動向を考慮し、景観の視点場として存続するか検討する。



# 視点場毎の景観評価

## ①国道39号駐車場

現状は樹木が繁茂し、湖を殆ど見ることができない



駐車場からの眺望

H30(2018).9.26撮影

## ②堤頂右岸展望台

展望台よりダム湖を眺望できる



堤頂右岸展望台からの眺望

H30(2018).9.26撮影

## ③ダム管理支所

管理支所前のウッドデッキからダム湖等を眺望できる



ダム管理支所からの眺望

H30(2018).9.26撮影

## ④遊々林遊歩道

(現在、クマ出没のため立入り禁止)

林の中に整備された散策路に複数の眺望スペースが設けられておりダム湖を眺望することができる

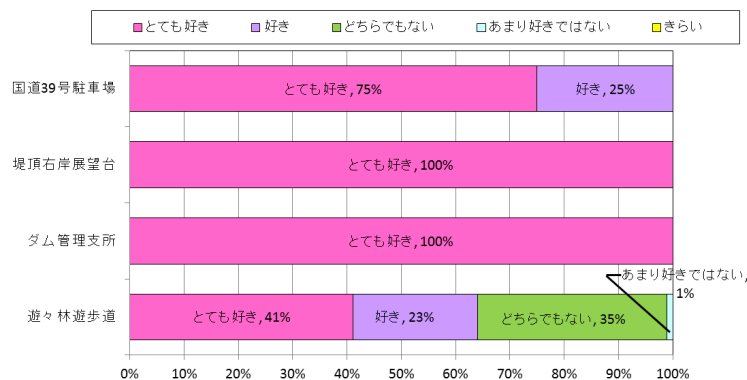


遊歩道からの眺望

H20(2008).9撮影

### 被験者の景観や雰囲気に対する評価及び意見

#### ●「ここから見える景色や雰囲気は好きですか。」に対する回答の傾向



(資料：平成21年度「河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)」時における景観アンケート結果より)

#### ●より良いダムの景観作りに向けた意見の内容

- ①国道39号駐車場
  - ・ダムを見るのに木が大きくなりすぎていて見づらい。
  - ・案内板があればよい。
- ②堤頂右岸展望台
  - ・ダムの説明のテープが流れていて大変わかりやすい。
- ③ダム管理支所
  - ※特になし
- ④遊々林遊歩道
  - ・案内板をもう少し見やすくしてほしい。
  - ・食事できる場所、喫茶店があればよい。

等

# ダム周辺施設の景観

大雪ダム貯水池は国立公園内に位置するため、周辺施設の塗装色は環境省との協議のうえ、自然と調和した色調となるように配慮している。

全てH30(2018).9.26撮影



管理支所への案内標識



取水塔、管理橋、ゲート



右岸展望台



管理支所への案内標識



管理支所



管理支所前広場



## ◆景観のまとめ

項目	まとめ
ダム及び周辺の景観評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ダム及び周辺の景観・雰囲気は、約8割以上の利用者が好意的に捉えている。</li> <li>●ダムらしい景観について、85%の人が「今のままの景観がよい」という回答が得られ、周辺の自然環境に調和したダム景観として捉えられている。</li> </ul>

## ◆今後の方針

項目	方針
フォローアップによる継続的な確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者は大雪ダム周辺の景観を良好なものとして捉えており、ダム湖利用実態調査の際に景観に関する調査を継続的に実施することで利用者意見を把握する。</li> </ul>
景観に配慮した施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大雪ダム管理施設の更新時に景観に配慮した整備を行う。また、経年劣化等により損傷が著しい周辺施設、現在利用されていない周辺施設は、施設管理者に今後の管理方法を確認する。</li> <li>●ダム及びダム周辺で統一したサイン整備、景観配慮を実施・継続するため、周辺施設の管理者と整備目的を共有した協力体制を構築し、サインシステム、景観デザインガイドラインの検討等を行う。</li> </ul>
視点場 モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国道39号駐車場は、樹木が繁茂しダム湖が見えにくく、利用者から不満の意見もあることから、今後視点場から良好な眺望が確保できるよう、関係機関と協力のうえ、維持管理を実施する。</li> </ul>